

# 使用者の声

「殺虫殺線虫剤 ネマトリンパワーD粒剤」の使用感について、インタビュー！  
生産者様の声を紹介します。

殺虫殺線虫剤

ネマトリン  
パワーD 粒剤

®は登録商標

【かんしょ】 鹿児島県 吉崎さん

## 品質と収量の安定化に貢献。 優れた効果と使いやすさで、 防除の要になっています。

品質と収量の維持がなにより大事。  
問題は、土壌に潜む線虫とコガネムシ幼虫。

JAIいぶすき加工用かんしょ専門部会の部会長として、部会員62名を束ねる吉崎さんを訪ねました。もともと40年以上前から葉たばこ栽培に従事していたそうですが、労働力不足や収益性の問題に直面し、20年ほど前に農協からの助言を受けて加工用かんしょ栽培へ転換。「高系14号」という品種から栽培を始め、現在は「べにまさり」や「マロンゴールド」などかんしょ1本で4.5haを栽培しています。

「私が作っているかんしょは、お菓子や冷凍焼き芋などの加工原料として使われます。ですから、安定した収量と品質を維持することが大事で、レベルの高い耕作をしていかないといけません。そのためには、土壌中に潜むネコブセンチュウとコガネムシ幼虫への対策がカギになる」といい、「これらの食害は深刻で、しっかり対策しておかないとイモの形状が乱れたり皮が剥がれたり、品質と収量のどちらにも大きく影響します。加工用かんしょ栽培を始めた当初は、相当やられて出荷できないこともありました」と昔を振り返りながら話されました。

使い方さえ間違わなければ、  
ネマトリンパワーD粒剤に勝るものはない。

そんな吉崎さんにとって、防除の要となっている薬剤がネマトリンシリーズです。「私の場合、線虫対策にはまず土壌くん蒸剤の全面



散布で土壌消毒をしています。それから20日ほどおいてガス抜きをし、混和してから、マルチ張りのタイミングで撒くのがネマトリンエース粒剤です。加工用かん



\*槍は合成です。

しょの栽培を始めた頃から使っていますが、まんべんなく畑に散布すればネコブセンチュウに対して100%に近い効果がありますね」。

その後、農協からの勧めがきっかけでネマトリンパワーD粒剤に切り替えたそうですが、これまで信頼して使い続けてきたネマトリンエース粒剤の優れた効果に加えて、コガネムシ幼虫も同時防除できることが大きな魅力だといいます。「これまでコガネムシ対策には別の薬剤を使っていましたが、それが1剤で済むようになりました。作業も楽になり、非常に使いやすいです。コストも安く、使う量とタイミングさえ間違えなければ、ネマトリンパワーD粒剤に勝る剤はないと思います」と高評価をいただきました。

最後にひと言、「ネマトリンパワーD粒剤の導入により、より安定した収量を確保できるようになりました。加工用かんしょ専門部会の皆とは日頃から研修会等で情報交換をする機会がありますので、会うたびに『ネマトリンパワーD粒剤が良いよ』と勧めています」と笑顔で話を締めさせていただきました。

※取材時(2024年9月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社 普及部 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



“使用者の声”は  
webでもご覧  
いただけます